

Quality is more than a word

ESPEC



第 **73** 期

中間株主通信

2025年4月1日から2025年9月30日まで



証券コード: 6859

株主のみなさまへ



代表取締役 執行役員社長 ^{あらた} 荒田 ^{さとし} 知

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

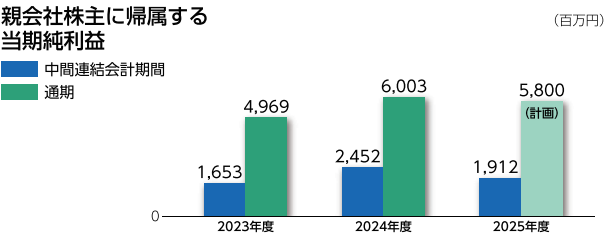
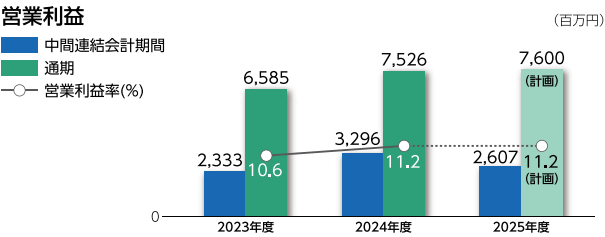
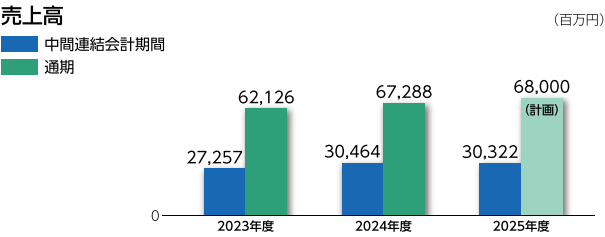
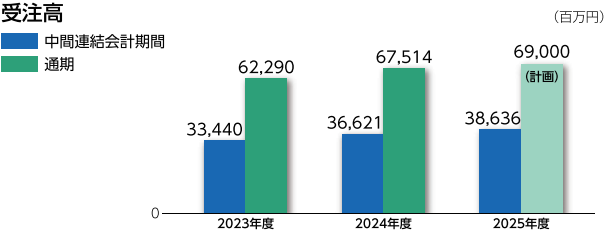
2025年度中間連結会計期間(2025年4月～9月)の事業環境といたしましては、中期経営計画のターゲット市場としているAI半導体関連において電子部品・電子機器の需要が堅調に推移いたしました。また、北米において衛星通信関連の投資が好調に推移いたしました。自動車関連につきましては、EV・バッテリー向け投資に一服感が見られました。

経営成績といたしましては、受注高は主に北米、東南アジアが好調に推移し、前年同期比で5.5%増加となり過去最高を更新いたしました。

しかしながら、大型製品や複数台一括といった長納期の案件が多く、売上高につきましては前年同期並みとなり、海外売上高比率は54.1%(前年同期比1.8pt減)となりました。利益面につきましては、原価率の悪化および販管費の増加により営業利益は前年同期比で20.9%減少、親会社株主に帰属する中間純利益は22.0%減少いたしました。

2025年度通期計画につきましては、中間連結会計期間の進捗をふまえ修正を行っております。受注高につきましては、中期経営計画のターゲット市場であるAI半導体、北米の衛星通信を中心に堅調と見ており660億円から690億円(前年度比2.2%増)に上方修正いたしました。売上高は、受注残高の消化が進むことから期初計画の680億円(同1.1%増)を据え置いております。利益面につきましては、装置事業は利益率向上が進むものの、EV需要減速に伴う受託試験サービスの収益悪化をカバーすることは難しいと判断し、営業利益は76億円(同1.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は58億円(同3.4%減)に下方修正いたしました。なお、配当金につきましては1株当たり年間115円から変更しておりません。2025年度は中期経営計画の初年度として、ターゲット市場の開拓や、モノづくりの高効率化に向けた投資計画策定、新製品開発を計画どおり進めております。また、株主還元方針に基づき、自社株買いの実施を発表いたしました(上限90万株35億円、期間2025年11月14日～2026年7月31日)。成長戦略の着実な実行と収益性改善施策の強化により、基本方針「筋肉質で持続可能な高利益体質の確立」を目指してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。



1株当たり配当金

| | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度計画 |
|-------|--------|--------|----------|
| 中間 | 25 円 | 35 円 | 45 円 |
| 期末 | 50 円 | 60 円 | 70 円 |
| 合計 | 75 円 | 95 円 | 115 円 |
| 配当性向 | 33.0% | 34.5% | 43.4% |
| 総還元性向 | 33.0% | 34.5% | - |

特集：中期経営計画PROGRESSIVE PLUS 2027をスタート

ターゲット市場「AI半導体」「自動運転」「衛星通信」とし、持続的な企業価値向上に向けて筋肉質で持続可能な高利益体質の確立を目指す

当社は、下図のとおり前中期経営計画「PROGRESSIVE PLAN 2025」の中期目標を2024年度に1年前倒しで達成したことから、新中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」（2025～2027年度）を策定しました。前計画ではEV・バッテリー分野の試験需要を獲得し業績を拡大しました。この3年間は10年先を見据え「質の向上」に舵を切り、筋肉質な体質へと転換していきます。中期目標は右記のとおりですが、特に営業利益率15.0%とROE12.0%以上を重視しています。持続的な企業価値向上に向けて、事業戦略、財務資本戦略、非財務戦略（ESG）を推進し、積極的な成長投資と株主還元を実行していきます。

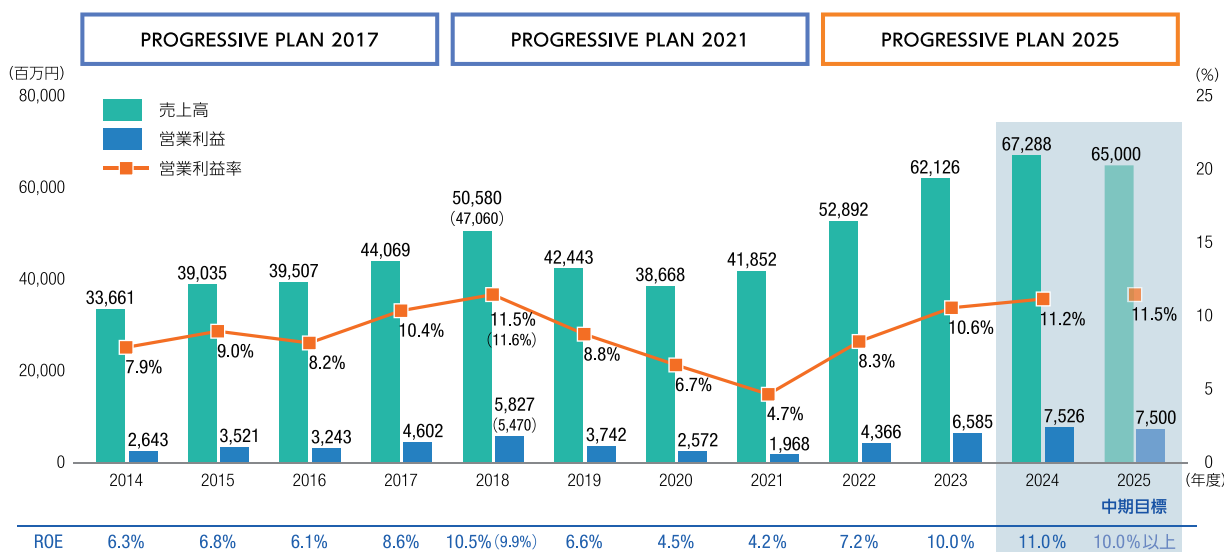
PROGRESSIVE PLUS 2027（2025～2027年度）基本方針・目標

筋肉質で持続可能な高利益体質の確立

質の向上と利益成長により「筋肉質な企業」となることで
持続的な企業価値向上を目指す

| | | | |
|-------|--------|-------|---------|
| ■中期目標 | 2027年度 | 売上高 | 700億円 |
| | | 営業利益 | 105億円 |
| | | 営業利益率 | 15.0% |
| | | 当期純利益 | 76億円 |
| | | ROE | 12.0%以上 |

■ PROGRESSIVE PLAN 2025目標・実績（前中期経営計画）



※ 2018年度は海外連結会社の決算期間が15ヵ月の変則決算、()は海外連結会社の決算期間が12ヵ月であった場合の参考値

今後、先端技術の実用化に向けて試験需要の拡大が見込まれる「AI 半導体」「自動運転」「衛星通信」をターゲット市場と定めています。半導体の高集積化や、自動運転に搭載されるセンサ等の高性能化、米国での商用衛星通信の開発などにおける技術課題の解決に貢献してまいります。

1. 事業戦略

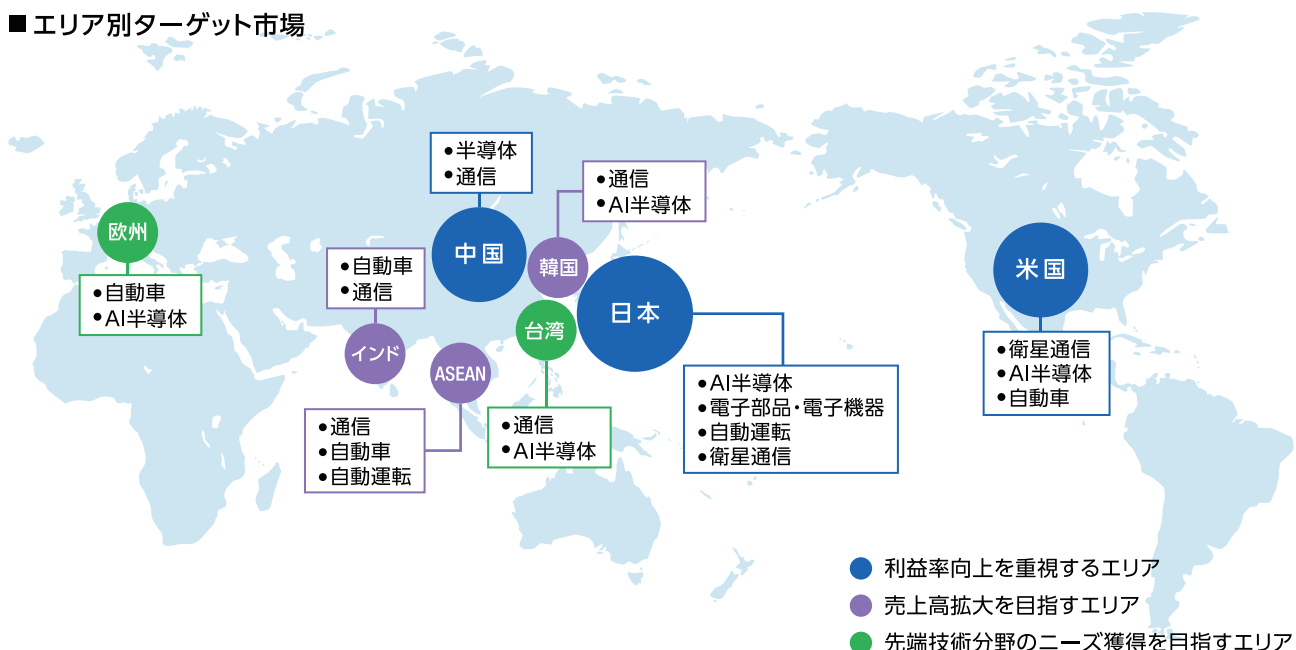
装置事業戦略では、主に環境試験器にて多彩な製品群、カスタム対応力によりターゲット市場の試験ニーズを獲得していきます。また、研究開発投資を拡大し、製品ラインアップ拡充と商品価値向上に注力します。グローバル戦略では、日本・米国・中国は利益率向上、インド・韓国・ASEAN は売上高拡大、欧州・台湾は先端技術分野のニーズ獲得を目指すエリアと位置付け、グループの総合力を活かした活動を展開していきます。モノづくり戦略では、AI・IoTを活用し、福知山工場(京都府)の省力化・自動化を推進していきます。

サービス事業戦略では、受託試験事業にて、「あいち次世代モビリティ・テストラボ」を中心に収益拡大を目指します。アフターサービス事業では、IT・デジタル技術を活用し装置の遠隔監視といったサービスを拡張していきます。

さらに、新規事業戦略として将来の収益の柱となる新たな事業創出を目指します。サーマルソリューションサービスでは、半導体の受託計測サービスなどの提供により、CAE*の精度向上に貢献し、お客さまの開発期間の短縮に寄与していきます。

※CAE：コンピューターを用いて製品の設計や開発を支援する技術

■ エリア別ターゲット市場



2. 財務資本戦略

「資本コストや株価を意識した経営」に向けて、総資産の効率化とキャッシュ・アロケーション方針に基づく株主還元の実施、IR活動の強化に取り組めます。

事業戦略による営業利益率の向上と、棚卸資産の適正化や売上債権の圧縮といった総資産の効率化によりキャッシュを創出し、成長投資と株主還元積極的に配分していきます。成長投資としては、前計画と同等の95億円を計画しています。主にモノづくりの効率化に向けて福知山工場の生産設備の刷新やリノベーションを進めます。研究開発費は約1.3倍(36億円→48億円)、社員の教育投資は約1.2倍(3.6億円→4.3億円)を計画しています。株主さまへの利益還元としては、株主還元強化の方針をより明確にするため配当基本方針を改定しました。

配当性向を30%から40%に引き上げ、自己株式取得も機動的に行っていきます。また、当計画の期間は3年間累計で総還元性向を50%以上とし、減配は行わないこととしました。IR活動では、株式市場での評価向上と経営強化に向けて、株主・投資家さまとの対話の充実に取り組んでいきます。

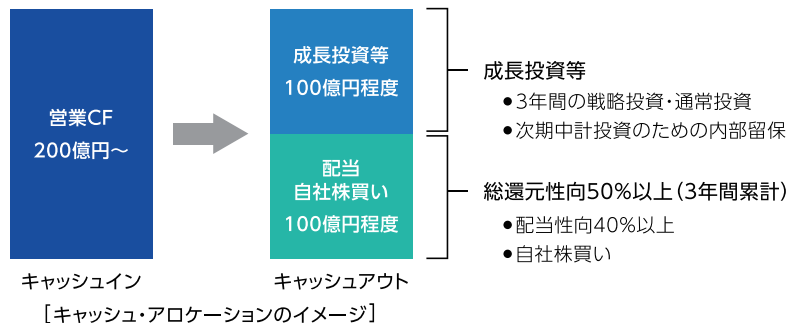
3. 非財務戦略(ESG)

経営の基盤となる人的資本の最大化に向けて、人材の獲得と育成の両面で取り組みを強化するとともに、オープンなコミュニケーションを促進し、従業員の働きがいの創出とエンゲージメントの向上を図ります。また、地球温暖化対策や生物多様性保全、グループガバナンスやリスクマネジメントの強化にも取り組んでまいります。

■キャッシュ・アロケーション方針

3年間で創出したキャッシュを成長投資と株主還元積極的に配分する

配当と自社株買いで総還元性向50%以上(3年間累計)の株主還元を実施



説明資料



説明動画

中期経営計画

経営体制のご紹介

2025年6月開催の第72回定時株主総会で取締役10名(うち社外取締役4名、女性取締役2名)が選任されました。当社の経営体制と新任取締役をご紹介します。



代表取締役
執行役員社長

① 荒田 知

取締役
常務執行役員

② 末久 和広

取締役 執行役員

③ 西谷 淳子

取締役 執行役員

④ 小田 秀征

取締役 執行役員

⑤ 吉野 俊彦

社外取締役

⑥ 柳谷 彰彦

社外取締役

⑦ 平田 一雄

取締役
(常勤監査等委員)

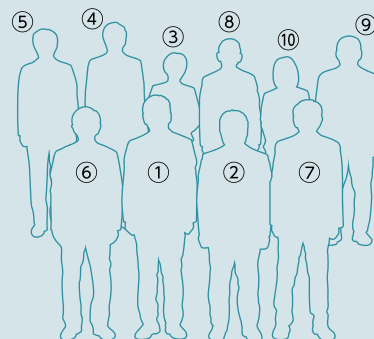
⑧ 石井 邦和

社外取締役
(監査等委員)

⑨ 田中 崇公

社外取締役
(監査等委員)

⑩ 吉田 恭子



新任取締役のご紹介



取締役 執行役員
小田 秀征

総務人事部長、AS 本部長、コスモピアハイテック株式会社 取締役を歴任後、現在は当社執行役員、コーポレート統括本部長、輸出管理本部長を務めております。これまでの経験を活かし、人的資本の強化やコーポレートガバナンスの継続的強化に努め、ステークホルダー経営を推進してまいります。

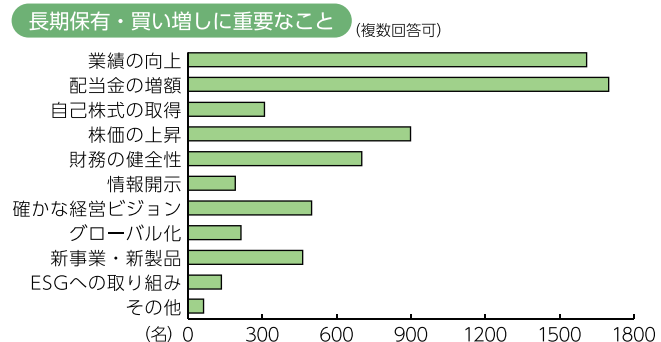
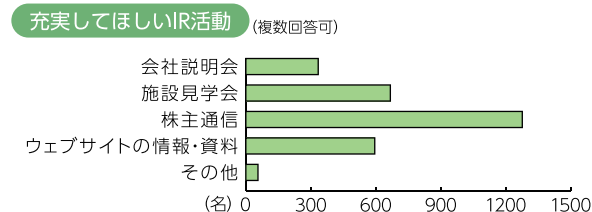
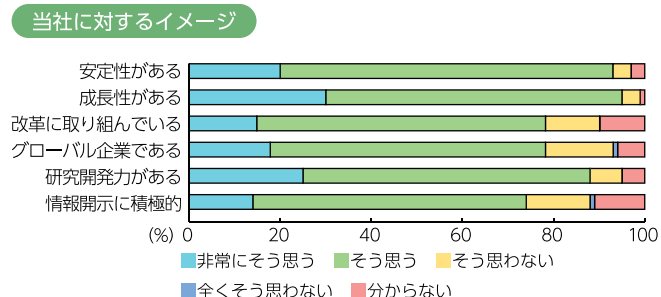
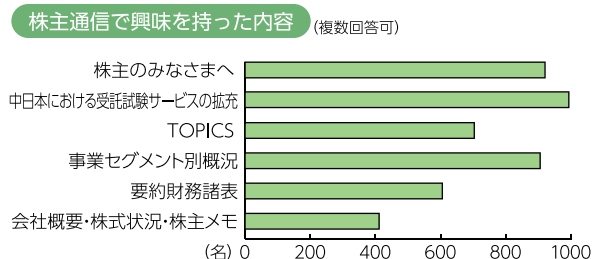
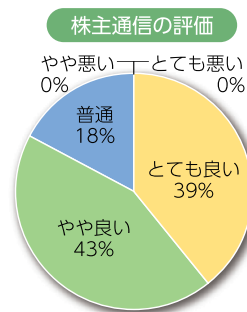
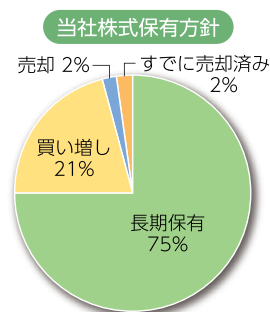
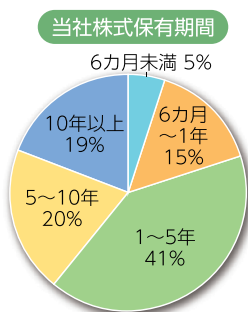
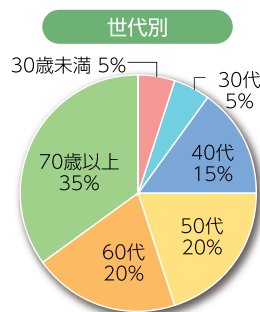


取締役 執行役員
吉野 俊彦

東日本営業ブロック長、エスペックサーマルテックシステム株式会社 取締役を歴任後、現在は当社執行役員、営業本部長、海外子会社（タイ、ドイツ）の取締役を務めております。エスペックの持続的な成長に向けて、主に営業分野で培った経験を活かし、成長戦略を推進してまいります。

株主アンケート結果のご報告

第72期株主アンケートでは、2,587名(男性：75% 女性：25% 回答率：27%)のみなさまにご回答いただきました。ご協力いただき誠にありがとうございました。以下のとおり、アンケートの結果をご報告するとともに株主さまからの声を一部ご紹介いたします。みなさまからの貴重なご意見を真摯に受け止め、当社について、よりご理解を深めていただけるよう株主通信のさらなる充実や今後のIR活動に活かしてまいります。



株主さまからの声

2025 大阪・関西万博に協力しているのが 身近に感じてうれしいです

▶「初めて知った」「見に行きたい」「万博がより楽しみになった」など多数のコメントをいただきました。9月には環境省のイベントに参加し、「静けさの森」や「大屋根リング」に提供した地域性植物の種子(ウツボグサやヘビイチゴなど)の展示や、パナソニックホールディングス株式会社様とトークセッションを行いました。当社グループの生物多様性保全活動や事業を知っていただくとともに、みなさまと交流する貴重な機会となりました。



大屋根リングにはススキ苗を7万株超、チガヤを9,500㎡にわたり提供

女性管理職比率など女性の活躍について知りたい

▶仕事と育児の両立を支援する制度や研修会など女性の活躍推進に取り組んでいます。3月には子育てサポート企業として厚生労働大臣より「プラチナくるみん」を取得しました。女性管理職比率は現在9.8%で前中期経営計画の目標10%を概ね達成しました。2027年度20%を目指し、継続して取り組んでまいります。



AI や半導体の市場は成長が期待できますね。 具体的にはどんな製品があるのですか？

▶生成AIが社会に広まるなか半導体やサーバー、電子部品・材料の開発が進んでおり、中期経営計画にて「AI半導体」をターゲット市場と決めました。提供製品は温湿度環境を再現する恒温恒湿器や、一定の速度で温度を変化させる急速温度変化装置、高温・高湿・圧力の3つのストレスを試料に与え短時間で寿命を評価する高度加速寿命試験装置など多岐にわたります。

半導体関連試験装置ラインアップ ▶



製品はどのように使用されているのですか？

▶10月発行のエスペックレポートにTDK株式会社様と福岡県産業・科学技術振興財団様へのインタビュー記事を掲載しました。当社製品の使用目的や試験内容をご理解いただけたと思います。ぜひご覧ください。

エスペックレポート 2025 ▶



IR活動にもっと力を入れて、知名度を上げてほしい

▶投資家のみなさまに当社をより知っていただくため、10月に初めてスポンサードリサーチレポート(第三者が公開情報や取材に基づき作成する投資家向けレポート)を発行しました。2026年1月には野村IR社主催の個人投資家向けオンライン説明会に参加予定です。今後もIR活動を強化してまいります。

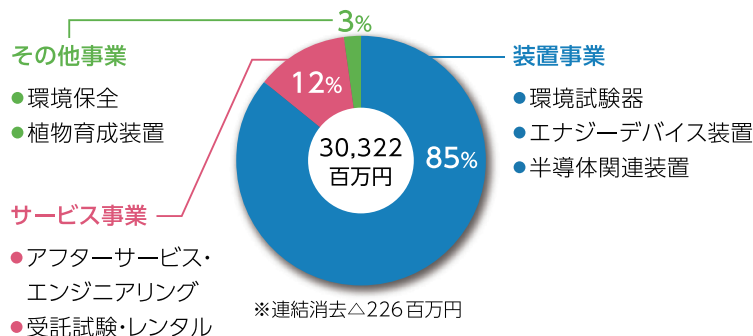
スポンサードリサーチレポート ▶



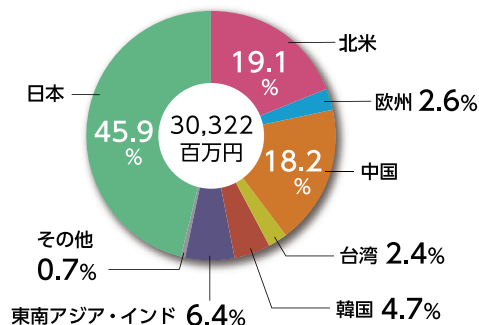
このほか「縁の下の力持ちとしてなくてはならない企業」「さらなる企業価値向上を期待」といった温かいお言葉も多数いただきました。

事業セグメント別概況

事業セグメント別売上高構成比



地域別売上高構成比



装置事業

環境試験器については、国内市場では、汎用性の高い標準製品は前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。カスタム製品においては、EV・バッテリー関連を中心に好調であった前年同期と比較して受注高は減少しましたが、売上高はAI半導体関連が堅調に推移し増加しました。海外市場では、前年同期比で受注高は北米、東南アジアが大幅に増加しましたが、長納期案件が多く売上高は減少しました。エナジーデバイス装置については、EVバッテリー向け投資が一巡したことにより前年同期比で受注高・売上高ともに大幅に減少しました。半導体関連装置については、受注高は前年同期比で減少しましたが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上により大幅に増加しました。

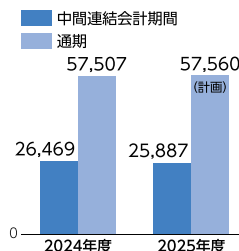
装置事業全体では、前年同期比で売上高は2.2%減少し、売上高の減少および原価率の悪化により営業利益は前年同期比で15.3%減少しました。



2025年度グッドデザイン賞を受賞
恒温(恒湿)器 プラチナスJシリーズ ECOタイプ

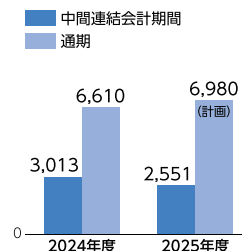
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



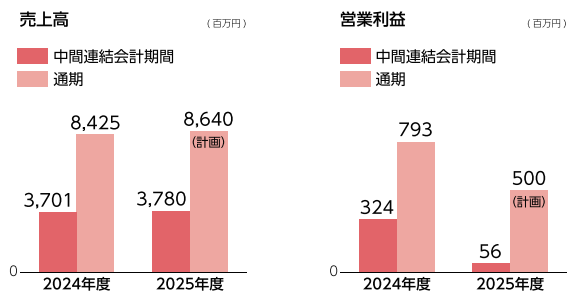
サービス事業

アフターサービス・エンジニアリングは、予防保全・修理サービスともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加しました。受託試験・レンタルは、EV需要減速に伴う投資抑制や開発計画変更の影響を受け受注高が減少し、売上高は前年同期並みとなりました。

サービス事業全体では、前年同期比で売上高は2.1%増加、営業利益は主に受託試験の減価償却費の増加や人員増により原価率が悪化し、82.4%減少となりました。



大学生の気球打ち上げプロジェクトを支援
受託試験所で搭載機器の性能試験を実施

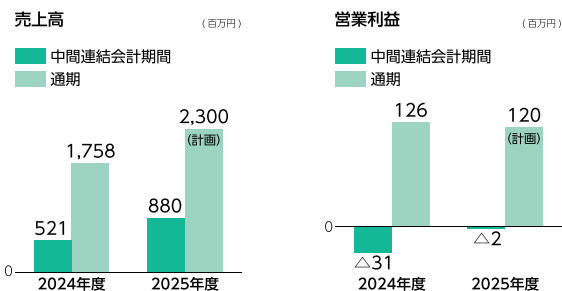


その他事業

環境保全事業および植物育成装置事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型案件を獲得するとともに、植物研究用装置や森づくりも堅調に推移しました。こうした結果、前年同期比で売上高は68.7%増加しました。しかしながら、利益面については前年同期比で改善したものの2百万円の営業損失となりました。



第27回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」に
アクアポニックスやタヌノオトシゴの陸上養殖などを展示



要約財務諸表

連結貸借対照表

(百万円)

| 科 目 | 前中間連結会計期間末 2024年9月30日 | 前年度末 2025年3月31日 | 当中間連結会計期間末 2025年9月30日 |
|----------------|--------------------------|--------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 47,624 | 50,589 | 51,479 |
| 固定資産 | 22,975 | 25,257 | 25,454 |
| 有形固定資産 | 14,148 | 15,925 | 15,746 |
| 無形固定資産 | 2,155 | 2,100 | 1,931 |
| 投資その他の資産 | 6,671 | 7,232 | 7,776 |
| ① 資産合計 | 70,600 | 75,847 | 76,934 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 14,546 | 15,421 | 14,713 |
| 固定負債 | 2,985 | 3,732 | 4,253 |
| ② 負債合計 | 17,531 | 19,153 | 18,967 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 49,065 | 51,843 | 52,546 |
| 資本金 | 6,895 | 6,895 | 6,895 |
| 資本剰余金 | 7,053 | 7,053 | 7,280 |
| 利益剰余金 | 38,434 | 41,212 | 41,796 |
| 自己株式 | △3,318 | △3,318 | △3,426 |
| その他の包括利益累計額 | 4,002 | 4,850 | 5,421 |
| ③ 純資産合計 | 53,068 | 56,693 | 57,967 |
| 負債純資産合計 | 70,600 | 75,847 | 76,934 |

① 総資産

前年度末と比べ1,087百万円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加4,601百万円、前年度末に計上された売上債権(受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権)の回収による減少4,563百万円、受注残高の増加による仕掛品等の棚卸資産の増加832百万円、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加544百万円などによるものです。

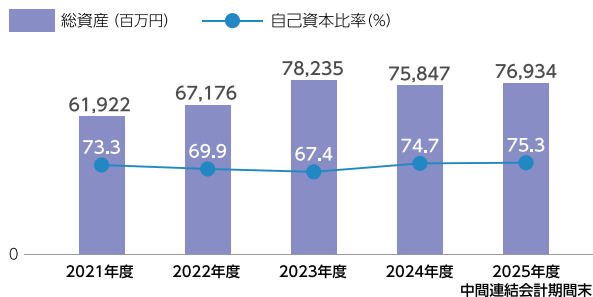
② 負債

前年度末と比べ186百万円の減少となりました。その主な要因は、信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship®)導入等に伴う長期借入金の増加416百万円、仕入債務(支払手形及び買掛金並びに電子記録債務)の減少366百万円、未払法人税等の減少269百万円などによるものです。

③ 純資産

前年度末と比べ1,274百万円の増加となりました。その主な要因は、当中間連結会計期間において親会社株主に帰属する中間純利益が1,912百万円計上された一方、配当金として1,324百万円剰余金処分されたこと等による利益剰余金の増加583百万円、その他有価証券評価差額金の増加395百万円、為替換算調整勘定の増加200百万円などによるものです。

総資産・自己資本比率



連結損益計算書

(百万円)

| 科 目 | 前中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで | 当中間連結会計期間 2025年4月1日から 2025年9月30日まで | 前年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで |
|---------------------|--|--|------------------------------------|
| 売上高 | 30,464 | 30,322 | 67,288 |
| 売上原価 | 19,326 | 19,767 | 43,300 |
| 売上総利益 | 11,137 | 10,554 | 23,987 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,841 | 7,947 | 16,460 |
| 営業利益 | 3,296 | 2,607 | 7,526 |
| 営業外収益 | 285 | 174 | 410 |
| 営業外費用 | 182 | 76 | 144 |
| 経常利益 | 3,398 | 2,704 | 7,793 |
| 特別利益 | 107 | 159 | 364 |
| 特別損失 | 1 | 2 | 31 |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 3,504 | 2,861 | 8,126 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,052 | 949 | 2,123 |
| 中間(当期)純利益 | 2,452 | 1,912 | 6,003 |
| 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 | 2,452 | 1,912 | 6,003 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

| 科 目 | 前中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで | 当中間連結会計期間 2025年4月1日から 2025年9月30日まで | 前年度 2024年4月1日から 2025年3月31日まで |
|----------------------|--|--|------------------------------------|
| ④ 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,135 | 5,579 | 4,445 |
| ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー | △247 | △237 | △1,154 |
| ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,310 | △863 | △7,245 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △301 | 125 | △74 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | △2,723 | 4,604 | △4,027 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 16,793 | 12,765 | 16,793 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 14,070 | 17,370 | 12,765 |

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は5,579百万円となりました。これは主に、売上債権の減少による資金の増加4,674百万円、税金等調整前中間純利益の計上による資金の収入2,861百万円、法人税等の支払による資金の減少1,047百万円、棚卸資産の増加による資金の減少959百万円、減価償却費の計上937百万円、仕入債務の減少による資金の減少457百万円などによるものです。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は237百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出474百万円、投資有価証券の売却による収入196百万円などによるものです。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は863百万円となりました。これは主に、配当金の支払1,319百万円、長期借入れによる収入450百万円などによるものです。

会社概要・株式の状況・株主メモ

会社概要(2025年9月30日現在)

| | |
|------|-------------------------|
| 社名 | エスペック株式会社 |
| 本社 | 〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6 |
| 創業 | 1947年(昭和22年)7月25日 |
| 設立 | 1954年(昭和29年)1月13日 |
| 資本金 | 6,895百万円 |
| 従業員数 | 1,900名(連結) 852名(単体) |

役員(2025年6月20日現在)

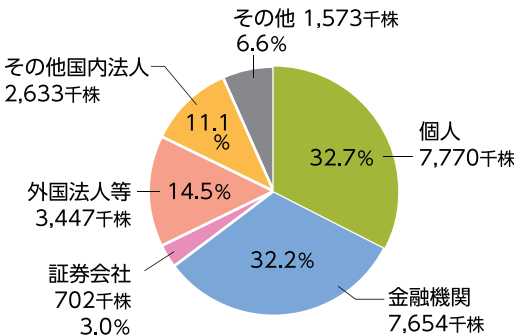
| | |
|--------------|-------|
| 代表取締役 執行役員社長 | 荒田 知 |
| 取締役 常務執行役員 | 末久 和広 |
| 取締役 執行役員 | 西谷 淳子 |
| 取締役 執行役員 | 小田 秀征 |
| 取締役 執行役員 | 吉野 俊彦 |
| 社外取締役 | 柳谷 彰彦 |
| 社外取締役 | 平田 一雄 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 石井 邦和 |
| 社外取締役(監査等委員) | 田中 崇公 |
| 社外取締役(監査等委員) | 吉田 恭子 |
| 執行役員 | 淵田 健二 |
| 執行役員 | 梅原 武彦 |
| 執行役員 | 梶口 宜弘 |

株式の状況(2025年9月30日現在)

発行済株式総数 23,781,394株
(自己株式1,573,364株を含む)

株主数 9,769名

所有者別株式数分布状況



大株主

| 株主名 | 持株数 千株 | 持株比率 % |
|--|--------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,460 | 15.58 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 2,058 | 9.26 |
| エスペック取引先持株会 | 1,621 | 7.30 |
| エスペック従業員持株会 | 726 | 3.27 |
| 日本生命保険相互会社 | 553 | 2.49 |
| モルガン・スタンレーMUF G証券株式会社 | 380 | 1.71 |
| MSIP CLIENT SECURITIES | 350 | 1.57 |
| BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS | 320 | 1.44 |
| 第一生命保険株式会社 | 276 | 1.24 |
| 住友生命保険相互会社 | 268 | 1.20 |

※持株比率は自己株式を除いて計算しています。

株主メモ

| | |
|--|--|
| 決 算 期 | 毎年3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 中間配当制度 | 有 |
| 基 準 日 | 3月31日および取締役会決議によって あらかじめ公告して臨時に定めた日 |
| 株式上場取引所 | 東京証券取引所(証券コード:6859) |
| 株主名簿管理人 事務取扱場所 | 東京都千代田区丸の内1丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部 |
| 郵便物送付先 | 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 電話お問合せ先 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-288-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00～17:00) |
| 株主総会資料の 電子提供制度 (書面交付請求) お 問 合 せ 先 | みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324(通話料無料) (土、日、祝日を除く9:00～17:00) |
| お 取 扱 店 | みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) |
| 未払配当金の お 支 払 い | みずほ信託銀行株式会社(本店および全国各支店) 株式会社みずほ銀行(本店および全国各支店) |
| 公 告 方 法 | 電子公告 電子公告掲載の当社ウェブサイトURL https://www.espec.co.jp/ir/stock/notice.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載 |

お問合せ先

エスペック株式会社 サステナビリティ推進部 IR・広報グループ
Tel: 06-6358-4744 e-mail: ir-div@espec.jp

IRサイト・メール配信サービスのご案内

IRサイトでは、財務・業績データや株式情報などを
ご覧いただけます。ぜひご利用ください。

■ 決算説明会ページ

2025年度第2四半期(中間期)決算について
説明動画を掲載しています。

<https://www.espec.co.jp/ir/event/presentation.html>



■ 個人投資家さま向けページ

当社の事業や強みについてご紹介しています。

<https://www.espec.co.jp/ir/individual/>



■ IRメール配信サービス

IR情報をタイムリーにお知らせします。
IRサイトよりご登録いただけます。

<https://www.espec.co.jp/ir/dirnet.html>



■ IRサイトに対する社外評価



エスペック株式会社



表紙・裏表紙の写真について

神戸R&Dセンター内の生物多様性フィールド「エスペックバンビの里」の写真を用いました。
表紙はニシギギ科 マユミ、裏表紙はキリギリスです。